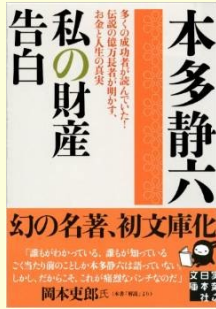


# やましたの「<sup>いっさつ</sup>今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。

## 私の財産告白 (実業之日本社文庫) / 本多 静六 (著) ¥514



-Amazonより内容紹介-

誰でも豊かで幸福になれる！日本人が書いた最高の人生哲学。貧農に生まれながら苦学して東大教授になり、「月給4分の1天引き貯金」を元手に投資して巨万の富を築いた男、本多静六。停年と同時に全財産を寄付して、働学併進の簡素生活に入った最晩年に語った普遍の真理は、現代を生きるわれわれにいまなお新鮮に響く。「人生即努力、努力即幸福」をモットーに生きた人生の達人による幻の名著、待望の初文庫化！

## ◎当たり前をできない情けなさ・・・（泣）

最初にこの本から「二杯の天井はうまく食えぬ」の話を紹介します。

**「月1万円の生活をする人が2万円の生活にこぎつけても、幸福は2倍にならぬし、10万円の財産に達しても、ただそれだけでは何らの幸福倍化にはならない。いったい人生の幸福というものは、現在の生活自体より、むしろ、その生活の動きの方向が、上り坂か、下り坂か、上向きつつあるか、下向きつつあるかによって決定せられるものである。」**

これは本当にそうだと納得させられました。例えば「今3億円持っていて、これから未来の可能性ゼロパーセント」という人生と、「今お金は全く持っていないが、これから未来の可能性100%」という人生は、皆さんどちらを選びますか？**ほとんど方は、後者の可能性100%を選ぶと思います。**年配の方は違うかも知れませんが・・・（笑）

この本に書かれていることは、誰もが知っていることです。読んでいて、**「そんなの当たり前じゃーん！」**ということが書かれています。しかし、これを実行している、または出来る人は少ないと思います。僕も含めて・・・。

一例を紹介しますと、「**本多式4分の1貯金法**」というものがあります。要は、毎月収入の4分の1を貯金しることです（笑）しかも、臨時収入（ボーナスなど）は、100%貯金しとも言われています。ではこれを実行していくと何が起ころうでしょうか？！

例えば、毎月手取りで80万円稼いでいるとします。その4分の1の20万円を毎月貯金します。臨時収入は無しと考えると、年間20万円×12ヶ月＝240万円貯まる計算になります。そして、老後に月20万円で生活出来る（年金は別と考える）とすれば、年間生活費は240万円必要になります。ということは、4分の1貯金をすれば、働かなくて良い時間が1年前倒しになるということです。これを30歳からやり始め、60歳までの30年間続ければ、お金の面では90歳までは楽に暮らせる計算になります。

世の中には、簡単に、楽に、などのフレーズが流布しています。典型的なのはダイエットや金儲け（仕事）の話です。しかし、現実とは違います。**何事にも当たり前があり、何事も結果を出すには時間がかかる**、このことは肝に銘じておくべきでしょう。活字にすると当たり前すぎますね（笑）